## 天塩高校1年生 総合的な探求の時間 植樹体験に参加して

皆様、こんにちは。天塩町地域おこし協力隊・天塩川歴史資料館学芸員の 前川です。

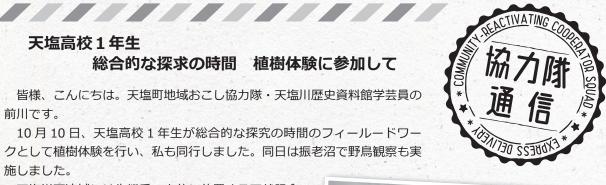
10月10日、天塩高校1年生が総合的な探究の時間のフィールードワー クとして植樹体験を行い、私も同行しました。同日は振老沼で野鳥観察も実 施しました。

天塩川下流域には生態系の上位に位置する天然記念 物で絶滅危惧種のオジロワシが生息しています。この 植樹は、オジロワシが餌を捕まえやすい環境(止まり 木)を整え、地域の生態系・環境保全につなげること を目的としています。

移動途中には、国の天然記念物である渡り鳥「オオ ヒシクイ」の群れを観察できました。振老沼は天塩川 の河川改修によって天塩川と分離されて出来た三日月 湖です。春と秋には雁類が立ち寄る重要な中継地です。 到着後は野鳥観察壁から双眼鏡を使い、生徒たちと、 鷺をはじめ、さまざまな鳥を観察しました。

植樹体験では土がぬかるみ、長靴が埋まって抜け出 せなくなる生徒もいましたが、泥だらけになりながら

も苗木を植えようと懸命に取り組んでいました。オジロワシを見ることはできませんでしたが、生徒たちにとっ て環境保全の意義を学ぶ貴重な機会となりました。







## ◀バスに驚いて飛び立つ

## オオヒシクイの群れ

オオヒシクイは、シベリア東部で繁 殖し、日本に冬鳥として渡来する大型 の雁 (ガン) の仲間です。 体長約 90~ 100cm、翼を広げると 180cm 以上に もなる迫力ある鳥で、国の天然記念物に も指定されています。春になると、カム チャツカ半島へと渡ります。

天塩川歴史資料館の今年度の営業は終了し、1473名(昨年度1,171名)と多くの方にご来館いただきました。 誠にありがとうございます。来年度はさらに入館者数を増やすため、新しい企画展の準備や展示解説の改善、 町民の皆様と楽しめるイベントを企画し、より魅力的な資料館を目指してまいります。今後とも天塩町地域お こし協力隊をよろしくお願いいたします。